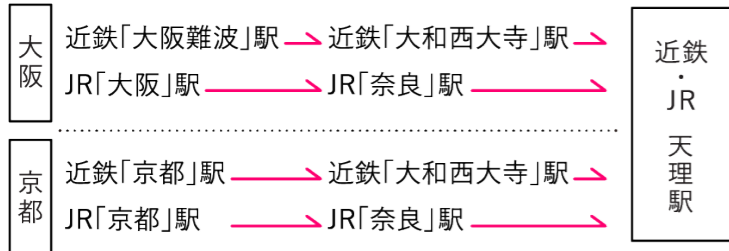


会場 なら歴史芸術文化村 交流にぎわい棟 2F 多目的室 奈良県天理市杣之内町 437-3

電車でお越しの方 最寄駅 近鉄・JR「天理」駅



※天理駅からシャトルバス運行または、奈良交通バス「勾田（まがた）」下車徒歩 15 分

■ シャトルバスについて **有料**

詳細は右記 QR より WEB をご参照ください。

〈シャトルバス電話予約〉 **050-2018-0107**

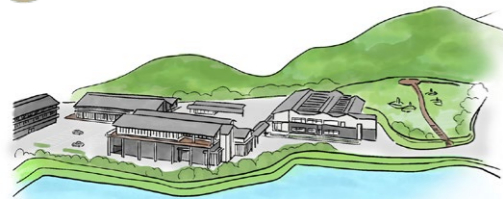


車でお越しの方

天理 IC もしくは天理東 IC より南へ約 3 km。天理市観光駐車場をご利用ください。



なら歴史芸術文化村



入館料
無料

(イベントにより別途有料の場合も有)

なら歴史芸術文化村は、2022 年 3 月にオープンした、歴史、芸術、食と農など、奈良県の誇る文化に触れることができる施設です。日本で初めてとなる文化財 4 分野（仏像等彫刻、絵画・書跡等、建造物、考古遺物）の修復作業現場の公開や、アーティストとの交流、子どもを対象としたアートプログラムなどを実施しています。単に見学する、一方向の解説を聞くことだけで終わらず、専門家や他の参加者と対話しながら知的好奇心を広げて学びを深めるラーニングプログラムを实践。五感で感じ、さまざまな人と関わり、体験して、「なぜ？」という新たな問いを生み出すことを大切に、知を探求していく楽しさを提供する施設です。

〈公式 HP〉 <https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>

開館時間：9:00～17:00

※レストランと貸館は 9:00～20:00
※にぎわい市場と文化村工芸館は 9:00～18:00
※情報発信棟トイレと授乳室は 24 時間

休館日：月曜日

※月曜日が休日の場合は翌平日が休館
※交流にぎわい棟は営業
※年末年始については、HP をご確認ください



How to apply ワークショップ申込方法 Contact お問い合わせ先

下記 HP よりお申し込み下さい。

<https://dan-dan.com/nara-kogeisws2023/>

申込締切：2023 年 9 月 22 日 17:00



※応募者多数の場合は、抽選となります。参加の決定連絡は、申込締切後、9 月 29 日までにご連絡します。

※ 1 回の申込で最大 4 名まで一緒に申し込みいただけます。

じっくり伝統工芸 WS in なら歴史芸術文化村事務局

(株式会社ダン計画研究所内担当：椎本・新井・河野)

TEL：06-6944-8751

※施設の電話番号へのお問い合わせはご遠慮ください。

じっくり 伝統工芸 ワークショップ

IN なら歴史芸術文化村

奈良の伝統工芸品の概要や製造工程の紹介、製作体験・使用体験など、1日かけてゆっくりじっくり学ぶワークショップです。

- 2023 年 10/25 (水) **赤膚焼体験** あかはだやき 手ひねり・絵付け体験、赤膚焼ミニ講座
- 12/2 (土) **吉野手漉き和紙・奈良晒体験** よしのてすきわし ならさらし 和紙製作、奈良晒講座、文化村見学
- 12/9 (土) **三方・吉野杉体験** さんぼう よしのすぎ 三方製作、吉野杉面皮を使ったクリスマスリース製作、文化村見学
- 2024 年 1/13 (土) **奈良筆・奈良墨体験** ならふで ならすみ 筆作り、にぎり墨、書道体験

〈会場〉なら歴史芸術文化村 交流にぎわい棟 2F 多目的室 (奈良県天理市杣之内町 437-3)

〈対象者〉どなたでも ※小学生以下の場合は、保護者の方が同伴下さい。

主催：奈良県産業振興総合センター

詳細は中ページをご覧ください

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ワークショップに参加される際は、咳エチケット・こまめな手洗い / 消毒にご協力ください。
●新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、やむを得ず中止となる可能性もございますこと、予めご了承願います。中止となった場合は、申込者にご連絡いたします。

じっくり伝統工芸ワークショップ IN なら歴史芸術文化村

申込方法は裏面へ

1 10/25 水 赤膚焼体験

あかはだやき

参加費: ¥6,600 定員: 16名

赤膚焼の体験プログラムです。午前は、粘土を指先で伸ばしながら形を整えて製作する手ひねり体験です。お皿、お抹茶茶碗、鉢の中から1点製作いただきます。午後は素焼きしたお皿に絵付けを体験していただきます。体験プログラムの始めには、赤膚焼の由来やその特長を解説するミニ講座も開催します。

※当日製作する赤膚焼は、窯元で仕上げ、素焼き・本焼き工程を経て後日ご自宅にお送りします。(送料は参加費に含まます)

講師

赤膚焼窯元 大塩 玉泉氏 (伝統工芸士) 有限会社ワーク 調査技師 山川 均氏

赤膚焼窯元大塩玉泉窯では70年余り、伝統工芸を守りつつ新しい作品に取り組み。一つ一つの作品を丁寧に、心をこめて作り上げる事を第一としている。

奈良県大和郡山市教育委員会に35年間在職し、発掘調査をはじめ、建造物、仏像、古文書など、多彩な文化財調査を主導。また国内外の大学や研究機関の要請に応じ、日本国内や中国での石造物の調査・研究を多数手がける。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 16:00

- 10:00~10:10 オリエンテーション
- 10:10~10:50 赤膚焼ミニ講座
- 11:00~12:40 赤膚焼 手ひねり体験
- 12:40~13:40 昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
- 13:40~15:40 赤膚焼 絵付け体験
- 15:40~16:00 体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。 ■ 参加費は受付時に徴収いたします。

3 12/9 土 三方・吉野杉体験

さんぼう よしのすぎ

参加費: ¥4,500 定員: 16名

三方と吉野杉の体験プログラムです。午前の三方製作体験では、神様へのお供え物を供える三方についてその概要を学ぶとともに、三方の製作工程の一部を体験していただきます。午後は吉野杉の年輪の特徴を活かした面皮で作るクリスマスリースを製作いただきます。昼食後には、文化財修復・展示棟について紹介いただく文化村見学も予定しています。 ※当日製作する三方・クリスマスリースはお持ち帰りいただけます。

講師

吉谷木工所 吉谷 侑輝氏 花井商店 花井 慶子氏

一世以上にわたり三方を作り続ける吉谷木工所6代目。三方のもつ相手への敬意や丁寧なおもてなしの心を大切に日々製作に取り組む。今後の吉谷木工所のあり方についても真剣に検討している。

吉野、下市町の製材所の娘に生まれ、小さい頃から木の側で育つ。大学では服飾科、卒業後は神社に奉職し、古い建物や伝統文化に興味を持つ。その後、家業の製材所に入る。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 15:40

- 10:00~10:10 オリエンテーション
- 10:10~11:50 三方製作体験
- 11:50~12:30 昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
- 12:30~13:30 文化村見学
- 13:50~15:20 吉野杉体験
- 15:20~15:40 体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。 ■ 参加費は受付時に徴収いたします。

2 12/2 土 吉野手漉き和紙・奈良晒体験

よしのてすきわし

ならさらし

参加費: ¥3,500 定員: 16名

吉野手漉き和紙と奈良晒の体験プログラムです。手漉き和紙製作体験では、手漉き和紙の原料を紹介しながら、楮剥ぎや紙漉きなど製作工程の一部を体験していただきます。午後は高級麻織物である奈良晒について学んでいただくとともに、製造工程の一部を体験していただきます。伝統工芸士による機織り機の実演もご覧いただく予定です。昼食後には、文化財修復・展示棟について紹介いただく文化村見学も予定しています。

※当日製作する手漉き和紙は後日ご自宅にお送りします。(送料は参加費に含まます)

講師

植和紙工房 植 浩三氏 (伝統工芸士) 岡井麻布商店 岡井 孝憲氏 (伝統工芸士)

100年以上前から、現在も昔ながらの手作業で漉き上げる植和紙工場の6代目。原料の楮(こうぞ)から自分で育てて和紙づくりをおこなう。

江戸時代の1863年から続く(創業160周年)岡井麻布商店5代目。20歳の時から麻織物に携わる。昔ながらの製法で、手織り機で織り上げて商品を作る。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 15:40

- 10:00~10:10 オリエンテーション
- 10:10~11:50 吉野手漉き和紙体験
- 11:50~12:30 昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
- 12:30~13:30 文化村見学
- 13:50~15:20 奈良晒体験
- 15:20~15:40 体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。 ■ 参加費は受付時に徴収いたします。

4 1/13 土 奈良筆・奈良墨体験

ならふで ならすみ

参加費: ¥4,000 定員: 16名

奈良筆と奈良墨の体験プログラムです。午前の奈良筆体験では、筆軸くり込み工程から穂首の仕上げ体験、午後の奈良墨体験では、生の墨を手で握って作る「にぎり墨」を製作します。また、午前に製作した奈良筆や奈良墨を使って書道体験も予定しています。

※当日製作する奈良筆・奈良墨はお持ち帰りいただけます。

講師

奈良筆田中 千代美氏 (伝統工芸士) 錦光園 長野 睦氏

筆作りに携わるようになり約40年。奈良時代から培われた伝統技法にて、奈良筆作りに取り組む。

錦光園7代目墨匠。代々100年以上に渡り、伝統を守り昔ながらの製法のまま、一つ一つ手作りで良質の「奈良墨」を作り続ける。







PROGRAM (予定) 10:00 ~ 16:00

- 10:00~10:10 オリエンテーション
- 10:10~11:50 奈良筆作り体験
- 11:50~12:50 昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
- 12:50~14:40 奈良墨 にぎり墨体験
- 14:50~15:40 書道体験
- 15:40~16:00 体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。 ■ 参加費は受付時に徴収いたします。

知っていますか? ならの伝統工芸品

奈良県内には長い歴史の中で培われた、優れた伝統工芸品が数多く伝えられていて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれています。本ワークショップで体験いただく伝統工芸品の概要は下記をご覧ください。

					
<p>赤膚焼 赤膚大和郡山城主の豊臣秀長が常滑の陶工を招いて窯を築いたのが始まりといわれています。乳白色の柔らかい風合いと奈良絵文様が特徴で、湯呑、花瓶、茶器、水指、置物など多様な作品が作られています。</p>	<p>吉野手漉き和紙 吉野宇陀紙、美栖紙、国栖紙とも呼ばれています。優れた風合いとねばりの強さが特徴です。漆漉しから書道紙、表装紙、草木染紙に至るまで、幅広い製品が作られています。</p>	<p>奈良晒 青苧(あおそ)、苧(ちょ)、麻(ま)、精麻(大麻)を紡いで糸にし、手織りした麻布(生平)を真白く晒したものです。現在は、生成り麻布に正倉院文様などを染めたのれん、テーブルクロスなどの室内装飾品が作られています。</p>	<p>三方 南北朝時代の頃、南朝の後醍醐天皇への献上物をのせて糸にし、用いられたのが始まりとされています。明治初期には技術者が和歌山や近郷から集まり、三方・膳が多く製作されるようになりました。</p>	<p>奈良筆 僧空海が中国から筆の製法を持ち帰り、奈良で製造されるようになったのが始まりといわれています。毛質に応じて配分・寸法を決めて混ぜ合わせ、毛組みに時間をかける「練り混ぜ法」により、穂先の仕上がりに絶妙の味がある高級毛筆が作られています。</p>	<p>奈良墨 奈良墨は奈良市で生産されている墨です。明日香の地で始まったとされ、都が京都へ移ってから奈良には多くの寺社があることから、写経や学問に必要な墨の工房が奈良に留まりました。奈良県奈良市にある興福寺二諦坊の燈明の煤を集めて作ったとされている油煙墨が、良質な「奈良墨」として名声を得て以降、現在まで長い伝統を保持しています。</p>

ワークショップ③④ 特別企画

ワークショップ③(三方・吉野杉体験)、ワークショップ④(奈良筆・奈良墨体験)では、事前プログラム・事後プログラムを開催します(いずれも任意参加)。

事前プログラム〈オンライン交流会〉

ワークショップ開催前に、当日担当する講師と事前に交流する機会として、オンライン交流会を開催します(zoom使用予定)。オンライン交流会では、普段はなかなか聞くことのできない、伝統工芸品に関わることになった経緯、伝統工芸への想いなどをざっくばらんにお話いただけます。なお、事前プログラムに参加しなくても、当日のプログラム参加には支障はありません。

事後プログラム〈工房見学(オープンファクトリー)〉(1月下旬開催予定)

ワークショップ開催後、講師が普段作業する工房に訪問し、ワークショップで触れた伝統工芸品の材料、製造プロセスについて、現場であらためて触れていただく工房見学を開催します。

※事前プログラム・事後プログラムの開催日時は、ワークショップ参加決定時にお知らせします。